

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】令和5年2月1日(2023.2.1)

【国際公開番号】WO2020/152587
 【公表番号】特表2022-517843(P2022-517843A)
 【公表日】令和4年3月10日(2022.3.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-043
 【出願番号】特願2021-542310(P2021-542310)
 【国際特許分類】

10

B 2 9 C 6 4 / 3 5 (2 0 1 7 . 0 1)

B 0 8 B 7 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

B 3 3 Y 4 0 / 2 0 (2 0 2 0 . 0 1)

【F I】

B 2 9 C 6 4 / 3 5

B 0 8 B 7 / 0 0

B 3 3 Y 4 0 / 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月20日(2023.1.20)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワークピースを回転させるためのデバイスであって、回転軸を中心に回転するためのロータと、前記ワークピースを保持するためのレセプタクルと、を備え、前記レセプタクルが、前記回転軸を横切る旋回軸を中心に旋回するために前記ロータに枢動可能に接続されており、これにより、前記回転軸に対する第1の角度配向と前記回転軸に対する異なる第2の角度配向との間の前記レセプタクルの旋回が可能にされ、前記デバイスが、前記レセプタクルに対して移動可能に配置されており、前記レセプタクルに対して異なる距離においてロック可能である釣り合いおもりを備える、デバイス。

30

【請求項2】

前記レセプタクルを、少なくとも前記第1の角度配向において旋回しないようロックするように構成されている、請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

コンピュータ制御によって前記釣り合いおもりを前記レセプタクルに対して前記異なる距離に配置するための作動駆動装置を備える、請求項1又は2に記載のデバイス。

40

【請求項4】

前記ロータを回転させることに応じて生じた不釣り合いを感知するためのセンサを更に備える、請求項3に記載のデバイス。

【請求項5】

ワークピースを備え、前記ワークピースが、歯科用歯列モデル、歯科用アライナ、又は歯科用修復物から選択され、前記ワークピースが、好ましくは、積層造形プロセスにおいて構築されており、前記ワークピースが、前記ワークピースの表面上に配置された光硬化性材料を含む、請求項1～4のいずれか一項に記載のデバイス。

50